



平成17年10月4日

各位

会社名 みずほ信託銀行株式会社  
代表者名 取締役社長 池田 輝彦  
コード番号 8404 東証一部・大証一部

### 平成18年3月期中間決算の業績予想(連結・単体)の修正

平成18年3月期中間決算の業績予想(連結・単体)について、下記のとおり修正します。

#### 記

#### 1. 平成18年3月期中間決算の業績予想の修正

(単位：億円)

	連結			単体		
	経常 収益	経常 利益	中間 純利益	経常 収益	経常 利益	中間 純利益
前回予想(A) (※1)	1,050	175	100	900	170	100
今回修正予想(B)	1,120	310	240	950	240	140
増減額(B-A)	+70	+135	+140	+50	+70	+40
増減率	+6.6%	+77.1%	+140.0%	+5.5%	+41.1%	+40.0%

(※1) 平成17年5月23日に発表したもの

#### 2. 修正の理由

当社連結・単体の経常収益、経常利益および中間純利益につきましては、実質業務純益(信託勘定償却前・一般貸倒引当金繰入前業務純益)が増加する見込みであること、与信関係費用が減少する見込みであることなどに伴い、前回予想を上方修正するものです。

#### 3. 平成18年3月期通期の業績予想

平成18年3月期通期の業績予想につきましては、11月下旬に予定しております中間決算の業績発表の際に、必要に応じ修正の上、公表いたします。

以上

- ・本発表資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。
- ・また、本発表資料内の記載は投資勧誘を目的として作成されたものではなく、日本国内外を問わず証券の募集を行うものではありません。

## 【参考資料】

### 平成18年3月期中間決算の業績予想<単体+再生専門子会社>の概要

(単位：億円)

	前回予想 (17年5月) (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
実質業務純益<※>	265	360	95
経常利益	170	265	95
中間純利益	100	240	140
与信関係費用(△)	70	40	△30

<※>信託勘定償却前・一般貸倒引当金繰入前業務純益

◇ 実質業務純益は360億円程度となり、前回予想比95億円程度増加する見込みです。

これは、①不動産業務収益の増加など財管部門粗利益の増収、②信託報酬の計上基準を変更したこと(注)に伴う粗利益の増加、③人・物件費の削減、などによるものです。

なお、この実質業務純益は、前年同期と比較しても70億円程度増加しております。

(注) 信託報酬については、信託期間の経過に関係なく収受するものおよび運用状況等に応じて報酬額が変動するものを除き、信託計算期間終了時に収益として計上する方法から、信託計算期間の経過に従って計上する方法に今年度より変更しました。この変更による業務粗利益への影響額は+50億円程度です。

◇ 与信関係費用は40億円程度となり、前回予想比30億円程度減少する見込みです。

◇ 中間純利益は、上記の要因などにより、前回予想比140億円程度増加し、240億円程度になる見込みです。

以 上